

# 反戦会議通信

68.12.9  
NO.19 東京教育大学 反戦会議

# 農学部分り授業を阻止し、 越冬能勢女相集せ！

## 「舌し口い」路線に最后的的鉄槌を！

言

筑波移転実力阻止に向かって非妥協的に斗りぬいている学友諸君！

我々反戦会議が一貫して主張して来た通り、「移転実力阻止か、それと

も如何なる形にせよ移転承認か」という辯の前には、やうの道など存在しないことが今や誰の目にも明らかになつたのだ。打仆目標は、当局と一体となつて「紛争早期解決」を謀る日共・民青の「舌し口い」路線、獲得目標は「筑波移転実力阻止し、その組織的実体は「全學斗」」ニニにありていざさかの日和見主義も許されはしない。

は、立場上大気に總力結集し、我々の戦線の決戦的強化をかちとれ！

本館バリケードをその象徴とする我々の斗いに対し、常に敵対してきた

日共・民青は、11.10赤旗誌文をもつて彼らなりに路線を純化し「舌し口い」による「解決」を方針として提起している。だが、純化された反事派には根ざなき実力斗争の展開をもつて应えようではないか。12.1文学生大会で「話し口い」路線を收拾策動を最終的に放逐せよ！

全學斗の旗の下、堅固な越冬態勢を构筑し、当面をして屈服せしめよ！

筑波移転実力阻止に向つて非妥協的に斗りぬいている全ての学友諸君！  
当回答は、紛争収拾し策動の実態は、我々反戦会議が当初から指摘した通り、日々刻々明らかになつてきている。我々は今こそきつぱりと28回省來粉碎し、全學斗の旗の下、長期実力斗争の實體をもつて、大学当局を屈服せしめなければならない。一切の日和見主義は既に喜劇でしかない！

筑波移転推進の主體は理学部の橋田・小林ラインは、周知の如くお譲り公に於て「6.10撤回」「6.20撤回」「M.2委解散しを圧殺し去つたのに続き、遂に「風雲集氣」のものを一蹴し去つた。加えて、大学当局は、我が風雲斗の最も弱い環である農学部に対し、12月9日からの分離授業風雨策動の攻撃を加えんとしている。好ましくも、大学当局は、我々の非妥協的斗争の前に、その強权的本質を全く明らかにしつつあるのだ！

今こそ一切の反革命に対し、反旗に打つて出ようではないか！相改系二派の諸君の自己保身策動をもつてしては、二の期をのり切る事はできない。全學斗の旗を高く掲げ、農学部分離授業風雨策動を実力で阻止せよ！授業雨雨策動を諸手を挙げて許容せんとしている日本共産党・民青の反革命性を徹底的に暴露し、全ての学生大衆を全學斗の旗の下に獲得せよ！二の期に及んで當日和見主義を克服し得ないならば、「中庸」と「自身」、全學斗を見捨てずにはおかないとどう。相改系諸君は、最後的に自己批判せよ！

あまつさえ、筑波移転推進派は、その組織化を開始してゐる。12月7日、大島教授を中心とした教員を含め、各学部から二百十名を寄せ集めてもたらされた「教育大の發展と正常化を期する会」は、12月10鑿井、り授業雨雨、じ詰し合いによる解決、を確認した。筑波移転阻止の斗争は、今開始された。全學斗の旗を高く掲げ、一切の收拾策動を粉碎せよ！